

事実と責任究明は 法案審議に不可欠

志位委員長が会見

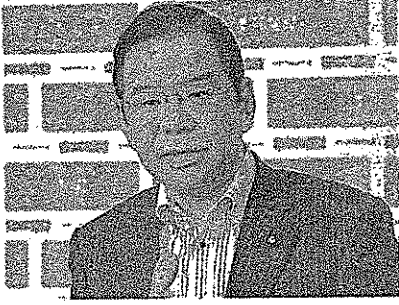
日本共産党の志位和夫委員長は3日、国会内で記者会見し、仁比聡平参院議員が2日の参院安保法制特別委員会で暴露した統合幕僚監部の新たな内部文書について、「米軍指揮下での自衛隊の暴走の姿が会談録という形で生々しく明らかになった」として、「この問題の事実解明と責任究明は法案審議にとって避けて通れない問題だ」と述べました。

↓統幕文書関連の③面

統幕長の国会招致を

新たな内部文書は、自衛隊トップの河野克俊統合幕僚長が総選挙直後の昨年末に訪米した際、米軍幹部との会談を記録したものです。

記者会見する志位和夫委員長(3日、国会内)



志位氏は、河野統幕長が戦争法案を「来年夏までに」成立すると約束したに「翁長雄志沖縄県知事が誕生した後も辺野古新基地建設を「強力で推進する」と表明していたことなどをあげ、「公務員の政治

的中立性をわきまえずに暴走している」と指摘。「これを首相、防衛相が知っていたら、政府ぐるみで國

会をめぐり、米軍と約束を取りかわしたことになる。知らなかったとすれば、自衛隊の暴走で、まったくシビリアンコントロール(文民統制)がきいていない、指揮監督責任を果たしてないことになると。志位氏は、「新たな内部文書の確認とともに河野統幕

国会前に雨のなか2100人

安倍政権追い詰めよう

安倍政権を追い詰めていくことを確信に戦争法案を廃案に追い込もうと3日夜、雨のなか駆けつけた2100人(主催者発表)が衆参両院議員会館前で「戦争法案今すぐ廃案」「安倍政権はただちに退陣」とコールしました。「総がかり行動実行委員会」が毎週木曜に呼びかける連続行動の16回目です。



「戦争法案反対」「国会を守れ」と声をあげる人々(3日、参院議員会館前)

主催団体の代表らが次々とスピーチ。「8月30日に国会を12万人で包囲した社会運動史に残る大きなたたかいが、安倍内閣をぼろぼろにし、追い詰めていく。全力で戦争法案をつぶそう」との発言が相次ぎました。

東京都内の高校1年の男性が「誰の命も奪いたくない。絶対に戦争法案を止めよう」と訴える。拍手がわきました。

9/4 赤旗

戦争法案反対

6日、学生と学者が宣伝

東京・新宿 志位委員長スピーチ

SEALDs(シールズ)のグループが主催する「自由と民主主義のための学生緊急行動」、安全保障関連法案に反対する学者の会は6日、東京・新宿区の伊勢丹前で、「安全保障関連法案に反対する学生と学者による街頭宣伝行動」を実施しました。

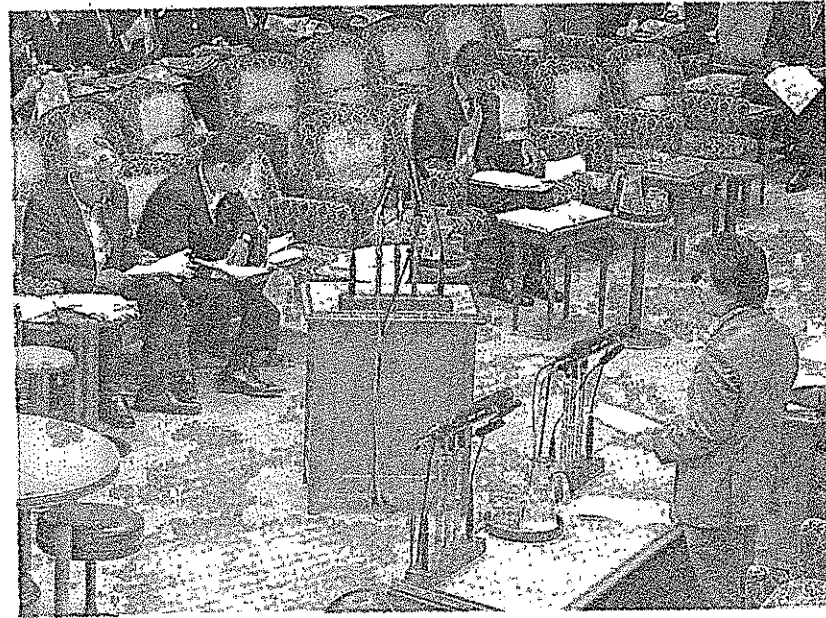
午後3時から、学生と学者によるスピーチとパフォーマンスを予定しています。午後4時からの政治家によるスピーチでは、野党各党の代表らとともに、日本共産党の志位和夫委員長がスピーチします。

日本共産党の仁比聡平参院議員、民主党、社民党、生活の党の国会議員が連帯していました。

仁比氏の追及

メディアア注目

日本共産党の仁比聡平 制特別委員会で暴露し
議員が2日の参院安保法 た、自衛隊トップの河野



質問する仁比聡平議員＝2日、参院安保法制特委

克俊統合幕僚長と米軍幹部との会談概要を記した内部文書が衝撃を与えています。「この爆弾は大きすぎる」。特別委の与党理事の一人は、内部文書が示す内容の重大性に動揺を隠しません。

内部文書は、戦争法案の閣議決定はおろか、与党協議も行われていない昨年12月に訪米した河野統幕長が米陸軍参謀総長に法案が「来年夏までには終了する」と発言したなど、自衛隊の暴走と対米従属の実態を生々しく

示しています。

やりとり詳しく

メディアも大きく注目しています。2日夜放送のテレビ朝日系番組「報道ステーション」は、仁比氏の追及を交えながら内部文書での河野統幕長と米軍幹部とのやりとりを詳しく紹介しました。

同番組でコメンテーターの中島岳志(北海道大学准教授(政治学者))は「河野統幕長の発言が政府の見解を受けてのものだったら、そもそも政府が議

会で合意形成しようと考

えてはいないことを示す。そうでなければ、シリアンコントロール(文民統制)の大きな問題だ」「文書を読んだが、自衛隊が米軍に主体的に従属している様が非常によくわかる。自衛隊は、アメリカが世界で地位を保つための下請けをやるようだ」と指摘しました。

沖縄の地元紙が

河野統幕長が、米軍普天間基地(沖縄県宜野湾市)に配備されている垂直離着陸機オスプレイの問題を「不安全性をあげるのの一部の活動家だけ」と発言していたことも、内部文書で判明しま

した。

沖縄の地元紙・沖縄タイムスと琉球新報はともに1面(3日付)トップで河野統幕長の会談録の内容をとりあげ、社会面も含めて解説。「安全性への不安からオスプレイ配備に強い反対の世論がある中、国民の目の届かない密室でオスプレイの積極配備を求める姿勢は、国民、県民を欺く行為ともいえ、批判が高まるのは確実だ」(沖縄タイムス)、「安倍政権の本音を自衛隊トップが映し鏡として米側に伝えていたとも捉えられる。政府は明確に説明する必要がある」(琉球新報)と厳しく批判しています。

仁比議員の質問は、

「朝日」「東京」「毎日」なども報じています。

政府は議会で合意形成考えていない

戦争法案に「二つの衝撃」

「8月30日の行動は想像以上だ。写真を見ても確かに国会前を埋め尽くしている。来ている人も若い母親など、組織動員ではなく一般市民が増えている。どんな広がっている」

閣僚経験者の一人は「衆院で再議決する」「60日ルール」はやらない。無理

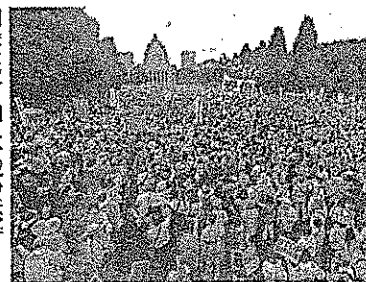
他方、「内閣支持率が一時下がったものの微増している。そのため党内にはそれほど強い反応は出ていない。この後、世論調査に跳ね返り、採決までに再び不

支持が逆転すれば危機感に変わる。これからの大きなヤマ場だ」と述べます。

法案に反対する民主系関係者は、「日本でこんなことが本当に起こると思っていない。革命前夜というところだが、すごいことが起こっている」と話します。8・30大行動の成功は「永田町」の動きにも大きな衝撃を与えています。

大きなヤマ場だ

国会前の様子を見に行っただという議員の一人は「主催者発表と警察発表など人数についてはいろいろな見



国会を取り囲み、戦争法案廃案、安倍首相退陣を求めてコールする人たち。8月30日、国会正門前

8・30 「相当な数。これは大変」

統幕文書 「突っ込まれたら苦しい」

だ。参院で採決までいく。どちらにしても強行になるが、そのほうが傷は浅い」と国民世論の動向を意識しました。

ラストスパート

その中で、日本共産党の仁比聡平議員が2日の参院安保法制特別委員会で、自衛隊の河野克俊統合幕僚長が昨年12月に訪米して米軍の最高幹部らと会談した記録の内部文書を暴露したことは新たな衝撃を与えています。

産党がいろいろ資料をどんどん出して。内部文書には自衛隊幹部の『了』の文字が並んでいる。これは間違いない」と指摘。「こういうのをどんどん突っ込まれたら本当に苦しい。統幕長更迭もありうるが、アメリカとの関係も難しい。シビリアンコントロールの重大な問題だ」と苦しい表情を浮かべます。国会による行政のコントロールの原則が無視されるという、法案審議の前提問題がいっそう深刻化しました。

他方、別の閣僚経験者は「参院が採決をやりたいくないといつても、いつもは『参院の独自性』を言っているのだから、きちんとやってもらわなければ」と、参院自民党の中にある強行採決消極論に対しキギを刺します。

文書には、来年の夏までには集団的自衛権行使が可能になる法律ができることか、辺野古新基地は日米共同使用する、アフリカ北東部・シブチの自衛隊の海賊対策基地はその他の目的にも活用するなど、河野氏の驚くべき発言が並んでいま。憲法を無視して暴走する安倍政権のもとで、軍部が暴走する危機的な実態が明らかになっています。

メディア関係者の一人は「30日の大行動を見て自民党の足がすくんでいる。参院の自民党は来年の選挙を恐れ、衆院は『60日ルール』を使ったときの国民の憤激を恐れ、それぞれの恩恵で語っている」と言います。

国会会期末(9月27日)まで残り3週間余。国会論戦と野党共闘、国民多数の世論によるさらなる包囲で、安倍政権をさらに追い詰める、戦争法案を葬り去るための闘いは、ラストスパートに向かっています。

事実に、衆院側と参院側で強行採決を押し付け合うような状況です。

自民党議員の一人は「共」

(中相黄二)